

第700回

I B C番組審議会 議事録

－議 題－

I B Cテレビ

いわて見聞録 あの日から14年、父と子の「約束」

2025年5月20日（火）

㈱ I B C 岩手放送

第700回IBC番組審議会

1. 開催日時 2025年5月20日（火）午前11時

2. 開催場所 IBC岩手放送 Dホール

3. 委員の出席 委員総数 9名

出席委員 9名

出席委員の氏名

委員長	田代 高章
副委員長	熊谷 志衣子
委員	繁田 奈菜子
	後藤 高宏
	菊地 文彦
	郷右近 勤
	高橋 司
	柴田 千春
	龍澤 尚孝（リポート）

会社側出席者

眞下 卓也	代表取締役社長
八木 宏樹	常務取締役編成局長
兼平 宗彦	取締役メディアセンター長
井丸 貴弘	アナウンサー・ディレクター
大志田 融	メディアセンター次長・報道制作部長

事務局

藤原 崇史	番組審議会事務局長
切替 郁恵	番組審議会事務局員
平澤 泰志	番組審議会事務局員

4. 議 題

IBC テレビ いわて見聞録 あの日から14年、父と子の「約束」

4月26日（土）午後4時半～午後5時 放送

5. 議事の概要

＜委員の主な発言＞

- 東日本大震災の直後からの貴重な記録。吉田寛さんと長男の芳広さんの14年間のリアルが描かれ、心に深く刻まれるドキュメンタリーだった。2人の気持ちが深く沁みて、それぞれがお互いを思っている所にすごく感動した。
- 番組タイトルから「約束」とは何か興味を持った。父と子の「約束」は、芳広君の「20歳頃俺幸せになるね」「お父さんもだよ」という言葉とその後の父親の応答や家族写真から、「家族の幸せ」がキーワードだと感じた。最後のナレーションが「生き抜いていきます」だった点が印象的。
- 幸せになると誓った子が仕事に就き、起業し結婚、赤ちゃんを授かった姿に逞しさを感じつつ、今でも苦しみが終わっていないと感じさせる父の姿に幸せとは何か考えさせられた。
- がれきの山を親子が手を繋いで歩いていく後ろ姿の映像がずっと心に残っている。何とも言えない感動的な映像だった。
- 最後に大船渡山林火災の復興の住宅で作業をする姿は、山林火災の復興も大事とさりげなく表現しているようで、考えられたエンディングだと思った。
- いくつかのシーンが番組の中で2度3度繰り返されたことで既視感のようなものを生み、大事な本編の前後の言葉の繋がりが逆に見えなくなっているようにも感じたので、字幕など工夫した方が良かった。
- 14年というプロセスの中で、間が少し空いている部分、小学校のその後とか中学生はどうだったのかとか、高校生としてどうだったのかとか、成長がイメージできる映像があっても良かった。
- 盛岡出身の女優、土村芳さんのナレーションは、落ち着いて抑え気味のナレーションで、聞き手にも心地よく伝わった。